

東浦 リボンビールの 名付け親

菅野純子さん

(石浜)



プロフィール

ひがしうらビール(仮称)の名前・ラベルデザイン募集で、最優秀賞を受賞。「東浦リボンビール」と命名された。また、町の人権擁護委員や自治会役員として活躍するほか、似顔絵師「つむ」としても活躍している。

東浦リボンビールの名付け親、ラベルデザインの生みの親である菅野さん。絵を始めたのは、コロナ禍に入つた3年前だという。「外出自粛で家にいる時間が増えたり、地域の活動でイベントなどを計画しても中止になつたり…。急に今までやっていたことができなくなり、なんだかか心にポカンと穴が開いてしまったよう。そんなとき、ふと目にした絵の講座の広告をきっかけに、オンラインで似顔絵の講座を受講し始めました」。



ラベル
デザインに
込めた想い



絵を描くことは好きだったけれど、得意ではなかったという菅野さん。なぜ、似顔絵の講座を選んだのか。「娘が美術の道に進んでおり、日々絵が上手になる姿を見て、どうして上手く描けるの?と聞く『描き続ければ上手くなるよ』と言われました。そこで、私も毎日1枚を目標に絵を描いていると、風景やモノよりも人の手や姿を書くのが好きだと気づいて。じゃあ、人の顔を描こうと似顔絵にしました」。

名前・ラベルデザイン募集に応募したのは、東浦町を盛り上げていきたいという想いがあったから。「名前も、ラベルデザインもひがしうらReBoneグルメのキャラクターである「リボンちゃん」から着想を得ました。リボンといえばかわいい、かわいいたいえば「おだいちちゃん」とアイデアが膨らんできて。でも、永遠に5歳のおだいちちゃんがビールの宣伝をするのはよくないなと、大人になつたおだいちちゃんをイメージして描きました。こだわりは、黄色い大きなリボン。どうしたらふんわり立体感が出せるかと、ゆかたの帯を自分の頭に巻いて研究しました笑。ほかにも、ぶどうやウノハナなどをデザインに取り入れるなど、東浦の良さをデザインに詰め込みましたとラベルに込めた想いが伝わってくる。

